

年度:2020年 LOM番号:11

【褒賞申請書】

事業名称	Jr.グローバルネットワーカー育成プロジェクト
カテゴリー	最優秀 LOM 個人能力開発プログラム部門

申請LOM	東北地区宮城ブロック仙台青年会議所
LOMの人数	174名
理事長名	木皿 譲司
担当者名	文屋 恵輔
担当者携帯番号	08058407242 担当者Mailkei.bunya.seikoshoji@outlook.jp
事務局住所	宮城県仙台市青葉区本町二丁目16-12仙台商工会議所ビル8階
事務局TEL	022-222-9788 事務局FAX 022-222-9786

本事業の参加者	会員数	174名
	関係者数	12名
	一般参加者数	のべ477名
事業実施に至る背景 400文字程度	<p>人・モノ・情報など社会の様々な場面でグローバル化が進む中、仙台市は市民の主体的な行動と協働による人づくり・地域づくりのもと、国際社会における仙台の存在価値を高める取り組みを推進し、持続可能な都市へと発展させる必要があります。私たちは、JCの独自性と世界的ネットワークを活用した国際アカデミー開催に向けた取り組みのもと、しあわせを共感できる仙台の実現に向けて、市民と共に国際意識を高めていく必要があると考え本事業を実施します。</p>	
事業目的 400文字程度	<p>参加児童、メンバーひとり一人がグローバルネットワーカーとして主体的に仙台の国際化に取り組む当事者意識を高め、互いの文化や異なる考え方を認識することから生まれる相互理解の重要性を理解すること</p> <p>そして、地域を牽引するリーダーとして、市民と共に仙台まちの国際化に向けて活動する意識を醸成することを目的とします。</p>	
SDGsの該当項目	<p>4 質の高い教育をみんなに</p> <p>11 住み続けられるまちを</p> <p>17 パートナリーシップで目標を達成しよう</p>	

<p>事業概要</p> <p>400文字程度</p>	<p>本事業は、小学生×留学生相互理解プログラムにて、留学生が小学校を訪問し、自己紹介、SDGsボードゲーム、短冊づくりや給食体験などを通して、次世代のグローバルネットワークワーカーとして国際に対しての当事者意識を向上させるプログラムを実施しました。また、一般市民、仙台市内の大学生、地域とも連携し、事業をサポートするパートナー基盤を構築しました。2021年国際アカデミーを見据え、お互いの価値観を理解し、積極的に関わることができるJr. グローバルネットワークワーカーを育成し、仙台まちの国際化を推進していく事業として展開しました。</p>	
<p>開催期間・ タイムスケジュール</p>	<p>2019年6月22日～2019年12月16日</p> <p>パートナー説明会 2019年06月22日(土)</p> <p>事業開催(北中山小学校) 2019年7月4日(木)</p> <p>事業開催(高砂小学校) 2019年7月5日(金)</p> <p>事業開催(通町小学校) 2019年7月10日(水)</p> <p>事業開催(栗生小学校) 2019年9月30日(月)</p> <p>事業開催(川平小学校) 2019年12月16日(水)</p>	
<p>開催場所</p>	<p>仙台市内各小学校</p>	
<p>事業区分</p>	<p>新規</p>	
<p>公益・共益区分</p>	<p>公益事業共益事業</p>	
<p>事業総予算・収支</p>	<p>予算計：¥130,000</p> <p>支出計：¥127,500</p>	
<p>協力団体</p>	<p>共催</p>	
	<p>協賛</p>	<p>仙台市、宮城県教育委員、市内小学校</p>
	<p>後援</p>	
	<p>その他</p>	
<p>事業対象者</p>	<p>小学生、留学生、仙台市関係者、一般市民、大学生</p>	
<p>行動 (ACTION TAKEN)</p> <p>400文字程度</p>	<p>(事業調査、立案、会議の流れ、実施活動、事業伍の活動について記入)</p> <p>■事業調査…仙台市の推し進めるまちの国際化を推進させるための事業が必要であると考えました。</p> <p>■立案…小学生と留学生が交流を深める中で、互いの国の文化や価値観の変化に気づき学ぶことで国際化に対する意識の変革を狙います。</p> <p>■会議流れ…予定者段階の2018年12月より仙台市と協議を始め、5月の理事会で審議を得て6月より実行しました。</p> <p>■実施活動…仙台市の協力のもと、市内5つの小学校にて小学生×留学生相互理解プログラムを実施しました。</p> <p>また、次年度以降拡大、継続できるよう関係各所とパートナーシップ宣言を</p>	

	<p>結びました。</p>
<p>結果 (RESULT)</p>	<p>・アンケート結果より、「グローバルネットワーカーとして主体的に仙台の国際化に取り組む当事者意識を高める」、「互いの文化や異なる考え方を認識することから生まれる相互理解の重要性を理解する」ことができたと考えます。</p> <p>また、参加した留学生においては100%のアンケート結果で仙台への愛着神が高まりました。</p> <p>・商店街組合員が製作する七夕飾りのデザインに事業で製作した短冊を組み込みました。仙台市内の商店街にて展示し、事業の取り組みを地域(商店街)と連携して広く発信する実績を作り、翌年度への土台作りとしました。商店街組合員が製作する七夕飾りのデザインに短冊を組み込むことで、費用負担なしで実施が可能でした。</p>
	<p>(この事業が与えた地域社会への影響を記入)</p>

<p>地域社会への影響  400文字程度</p>	<p>市内五つの小学校で一般市民や大学生などを含む、総勢400名超の参加者があり、価値観や習慣や文化の違いを共有していただくことで、相互理解につながります。また留学生にとって、仙台の魅力を認識する機会としました。さらに、Jr. グローバルネットワーカーに必要な主体性を育みました。</p> <p>明るい豊かな社会の縮図であるSDGsについて、ゲーム感覚で楽しく体験することで、子どもたちの視野を広げるとともに、世界の様々な場所で暮らしている人のことや自分たちの未来のことなど考えてもらうきっかけとし、国際社会との繋がりをより身近に捉えることでの社会課題への当事者意識の向上、そして国際感覚を芽生えさせるとともに、自主的に物事を考え、実践する力を養いました。さらに、プログラムに七夕祭りの飾り作りを取り入れることで、地域の企業との連携構築もできました。</p> <p>また長期的に仙台の国際化を持続的に推進していくため、行政・民間・仙台市内各種国際機関などとの連携基盤を構築し、パートナーシップ宣言を結びました。</p>
----------------------------------	---

<p>LOMへの影響</p> <p>400文字程度</p>	<p>本事業により、学生、地域、行LOMが協力して本事業を行ったことで、今後の連携基盤を構築できました。</p> <p>また、アンケート結果により、メンバー一人ひとりが国際化に向け主体的な行動を起こす当事者意識や、地域を牽引するリーダーとして、市民と共に仙台まちの国際化に向けて活動する意識を高めることができました。</p>
<p>事業の長期的な影響</p> <p>400文字程度</p>	<p>行政・民間・仙台市内各種国際機関などとの連携基盤を構築し仙台の国際化に向けたパートナーシップ宣言を結んだことで、仙台の国際化を持続的に推進することができます。</p> <p>また、2016年度JCI会頭パスカル・ディケ先輩によると、人類が皆、子どものように行動すれば、世界平和が実現可能だと述べていることから、留学生やメンバーにとっても小学生と触れ合い子ども心を思い出すことが、世界平和実現へとつながると考えます。</p>
<p>考察や推奨</p> <p>400文字程度</p>	<p>(検証を踏まえた次の行動を記入)</p> <p>JCIは、行政や教育機関、地域などと連携しその運動を伝播させていくことが重要と考えます。また、SDGsの達成には他国の文化を知り、相互理解を深めることが重要となります。</p> <p>本事業は、教育機関と連携し、未来を担う子ども達が国際交流を実体験するプログラムであり、相互理解を深める一助になったものと考えます。また、低予算で実施できる事業であり、継続可能な事業モデルです。さらに、関係各所とパートナーシップ宣言を結んだことで、この運動を伝播させる仕組みを構築することができたと思います。</p> <p>今後はこの事業モデルを市民が能動的に実施できる体制を整え、関係各所との連携を強化し、仙台の国際化に向け、事業を発展させていくことが必要と考えます。</p>
<p>改善点</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各小学校での開催時、開催趣旨やプログラムをよく理解してもらえるようなパッケージを作成すること。</li> <li>・参加意欲のある大学生が参加しやすいような日程を組むこと。</li> <li>・コミュニケーションが苦手な子どもにも意欲を出してもらえるよう、各グループにメンバー等が入り調整すること。</li> </ul>
<p>JCI活動計画の推進</p> <p>JCI VISION活動計画の推進</p> <p>JCI MISSION活動計画の推進</p>	<p>1) 影響力</p> <p>市内五つの小学校で総勢400名超の参加者がり、また長期的に仙台の国際化を持続的に推進していくため、行政・民間・仙台市内各種国際機関などとの連携基盤を構築し、パートナーシップ宣言を結びました。</p> <p>2) 意欲</p>

	<p>小学生の集中力や興味が削がれないよう、講義だけでなくゲームや親御さんを取り組むことで意欲促進を図りました。</p> <p>3) 投資  まちの未来を担う若者の成長の機会と、その国際意識の変革を促すことは、地域の垣根をこえた明るい豊かな社会につながる未来への投資であると考えます。</p> <p>4)協働  行政や民間のパートナーと協働し事業を行いました。また、パートナーシップ宣言を結びました。</p> <p>5)つながり  仙台JCがリーダーシップを発揮し教育に関わる方たちと将来ある子ども達のために同じ目標に向かったこと、行政や仙台市中心部商店街の方たちとの連携の構築は持続可能なインパクトにつながります。</p> <p>ミッション: 宮城教育委員会や行政の協力のもと、互いの文化や考え方を認識し相互理解の重要性を理解する機会を提供しました。</p> <p>ビジョン: 小学生と留学生が交流することで、主体的に交際化に取り組むグローバルネットワークの育成に寄与しました。</p>
<p>添付資料  PDF資料2MB、5ページ以内</p>	<p>(事業風景写真、新聞記事、参加者や協力者から寄せられた感想文 など)</p>

【パートナー説明会】



【高砂小学校】



【北中山小学校】





<事業開催校からの評価>

●栗生小学校 英語担当職員 國井様

児童にとって今回の交流は英語で話すという点において大きな自信につながったと思います。

また、ほかの国の文化に目を向けようとする意識が育ったいくと思います。

●北中山小学校 職員 五十嵐様

毎年、児童に国際の機会に触れさせようと、色々な関係団体にアプローチして、授業をしていました。

今回の交流は、SDGsというこれまであまり聞いたことがない世界規模の話と、仙台にお越しの留学生との相互理解体験を通じ、児童が緊張しながらもイキイキとした姿で取り組み様子を喜ばしく感じました。

児童の視野を広げてくれるとてもよい事業だと感じます。

●高砂小学校 6年生担当先生

日本人が外国人に対して抱いていたイメージとのギャップをうめることができたと感じました。

また、子供たちが異文化に興味を持って、相手のことを理解していくことが必要で、相互理解によって国際化が進んでいくと思います。

とても有意義な交流の時間だったので、機械があればまた開催してほしいと思います。ありがとうございます。

●自主開催：通町小学校 6年生保護者会代表 高城様

日常、親子そろって国際の機会に触れることがないので、「英語」を通じて、海外の方と触れ合うことは非常に良い件でした。

生徒達から楽しかった!!って感想をもらい親子で楽しめる良い思い出になりました。

## <小学生×留学生による国際交流>

## <Jr.グローバルネットワーク育成プロジェクト 2019 >

公益社団法人仙台青年会議所は2019年06月22日土曜日から2019年12月16日月曜日にかけて「Jr.グローバルネットワーク育成プロジェクト2019」をく仙台市内の5つの小学校>にて行いました。詳細の内容につきましては、下記内容をご覧ください。

この<J参加児童、メンバーひとり一人がグローバルネットワークとして主体的に仙台の国際化に取り組む当事者意識を高め、互いの文化や異なる考え方を認識することから生まれる相互理解の重要性を理解すること、そして、地域を牽引するリーダーとして、市民と共に仙台まちの国際化に向けて活動する意識を醸成すること>を目的として開催されました。<アンケート等によりその目的は十分に達成され、さらに、長期的に仙台の国際化を持続的に推進していくため、行政・民間・仙台市内各種国際機関などとの連携基盤を構築し、パートナーシップ宣言を締結する>という結果を残す事ができました。

### <Jr.グローバルネットワーク育成プロジェクト 2019>とは？

#### 詳細な事業内容

期日:2019年06月22日～2019年12月16日

会場:仙台市内5つの小学校

(事業内内容)

本事業は、小学生×留学生相互理解プログラムにて、留学生が小学校を訪問し、自己紹介、SDGsボードゲーム、短冊づくりや給食体験などを通して、次世代のグローバルネットワークとして国際に対する当事者意識を向上させるプログラムを実施しました。また、一般市民、仙台市内の大学生、地域とも連携し、事業をサポートするパートナー基盤を構築しました。2021年国際アカデミーを見据え、お互いの価値観を理解し、積極的に関わることができるJr.

#### 写真1

【高砂小学校】



グローバルネットワーカーを育成し、仙台まちの国際化を推進して  
いく事業として展開しました

## 写真 2

【パートナー説明会】

